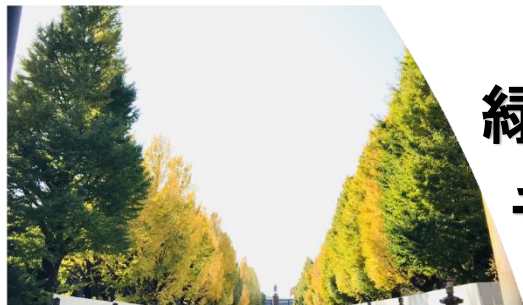




平成29年度
千代田学活動成果報告書



緑・水辺・生物による
千代田区の魅力化
プロジェクト



法政大学人間環境学部
高田ゼミ



はじめに

都市の自然は身近にあって私たちに様々な効用をもたらしてくれる一方で、その魅力に必ずしも私たちは気付いていない。せつかくの宝物を見過ごしているに等しい。そこで千代田区内の自然要素の魅力を学生の感性と目線で掘り起こし、多くの区民や関係者に知ってもらい、新鮮な眼差しで都市の自然を眺めてもらう方法を提起するとともに、さらに都市の自然の魅力を高めるための提案につなげたいというのが本活動の目指すところである。

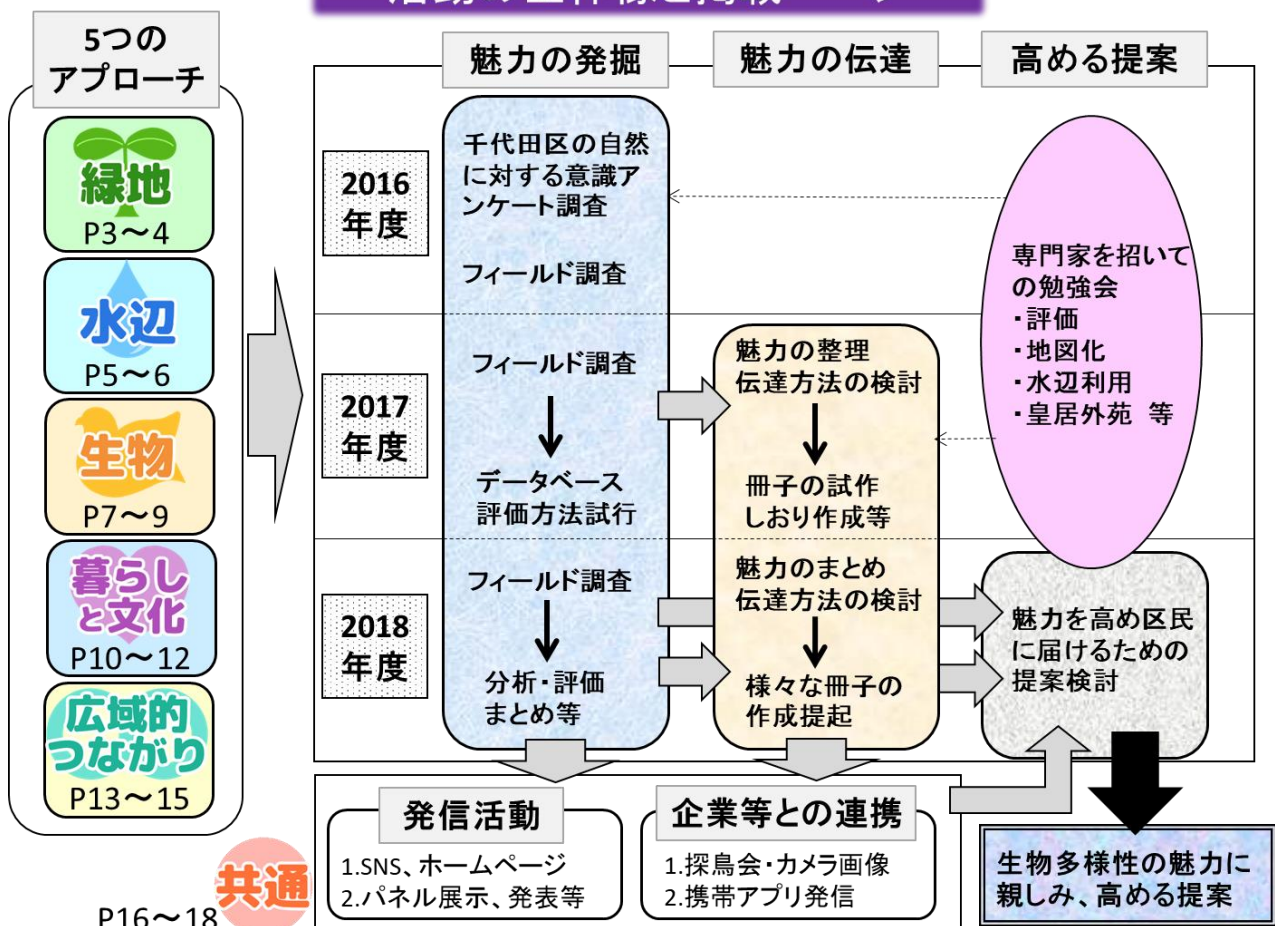
今年度は活動2年目として、前年度に引き続き「緑地」「水辺」「生物」「暮らしと文化」「広域的つながり」の5つの視点から都市の自然に関わる調査並びにデータ整備と分析評価を行うとともに、その魅力をビジュアルで感性に訴えて表現し伝達する方法について実践的に検討した。さらにSNS等で活動を発信し、企業と連携してより効果を高める試みを行った。本報告書は今年度の活動成果をまとめたものである。個々のアイデアのその先にある姿を引き続き探していきたい。

これらの成果が、様々な主体に見方・捉え方のヒントを提供し、活動を触発することで、都市の自然が潜在的にもつ機能を有効に発揮させる取り組みや利用促進に結び付き、生物多様性の観点からさらに豊かな自然を育み、世界に誇れる千代田区に微力ながら寄与することを期待したい。

法政大学 人間環境学部

教授 高田 雅之

活動の全体像と掲載ページ







緑地サイクリングマップ作成

○現地調査とデータベース作成

千代田区を以下の3つのエリアに区分し、コミュニティサイクル“ちよくる”を利用してエリアごとに緑地調査を行った。調査は学生目線の評価や印象を重視した調査項目を設定し、結果をデータベースに取りまとめ可視化し分析した。

- 【飯田橋～麹町エリア】靖国神社、北の丸公園、東郷元帥公園、千鳥ヶ淵緑道、東京大神宮、清水谷公園、ホテルニューオータニ日本庭園、東京ガーデンテラス紀尾井町
- 【神保町～神田エリア】小石川後樂園、三井住友海上屋上緑地、ECOM 駿河台、小川広場、錦華公園、神田明神、神保町三井ビルディング
- 【大手町・丸の内～日比谷エリア】日比谷公園、大手町の森、和田倉噴水公園、KITTE ガーデン、丸の内ブリックスクエア、新丸ビル7F 丸の内ハウス、丸の内仲通り

[調査項目]

緑の多さ・ちよくるの有無・音
生き物・おすすめの季節・印象
利用者・アクセス・広さ
設備・周辺施設・バリアフリー
植物の種・周辺のおすすめスポット
葉の収集

エリア	緑地名	調査日	緑の多さ (5段階)	生き物の多さ	利用者	施設	ちよくるの有無	おすすめの季節	アクセスの良さ	周辺の施設
1	靖国神社	2016/4/29 2017/4/28	多い(4)	多様(豊か)	高齢者・観光客 学生・市民(多)	神社・公園・商店街	あり	四季を通じて	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園
2	北の丸公園	2016/4/29 2017/4/28	多い(5)	多様(豊か)	学生・市民(多)	公園・広場	なし	春・秋	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園
3	千鳥ヶ淵公園	2016/4/29 2017/4/28	少ない(2)	少ない	学生・市民(多)	公園・広場	あり	春・秋	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園
4	東郷元帥公園	2016/4/29 2017/4/28	多い(5)	多様(豊か)	学生・市民(多)	公園・広場	あり	春・秋	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園
5	東京大神宮	2016/4/29 2017/4/28	少ない(2)	少ない	学生・市民(多)	公園・広場	あり	春・秋	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園
6	清水谷公園	2016/4/29 2017/4/28	少ない(2)	少ない	学生・市民(多)	公園・広場	あり	春・秋	丸の内線・有明線	靖国神社・東京大神宮・有明公園

調査項目	調査結果
緑の多さ	多い(4)
ちよくるの有無	あり
生き物の多さ	多様(豊か)
利用者の多さ	多い
施設の多さ	多い
アクセスの良さ	良い
周辺の施設の多さ	多い

○ちよくるによる緑地サイクリングマップ作成

前記の調査分析をもとに、エリアごとにニーズやターゲットを考え、各エリアで移動手段としてちよくるを利用した緑地巡りコースを検討し、冊子案を作成した。現在、親近感を高めるための葉のラミネートをパンフレットに添付すること、サイクリングコースに加えて学生がおすすめする寄り道スポットを記載すること等を検討中である。



ラミネート用の葉を収集



作成中のエリア別マップ

『ベストオブ水辺』の作成

○現地調査とベストオブ水辺の作成

以下の水辺を対象に現地調査を行い、学生の視点から主に利用者目線の項目について水辺らしい魅力の5段階評価を行い、取りまとめたデータをもとに「ベストオブ水辺（第1版）」を完成した。

日比谷公園、和田堀公園、神田川、瀬上池、育徳園、井の頭公園、肥後細川庭園、甘泉園公園、
おとめ山公園、平和の森公園、善福寺公園、北の丸公園



○神田川水系における水辺マップの作成

神田川水系における水辺のある公園を現地調査するとともに、水辺の生き物に関する情報収集と現地調査をもとに、現在、神田川版のベストオブ水辺として水辺マップを作成している。コンテンツとして、水辺と触れ合えるスペースの魅力紹介や、身近な生物に関するもの知りコラムなどを検討中である。





水辺ごこち/ビオトープマップ

○冊子『水辺ごこち』の作成

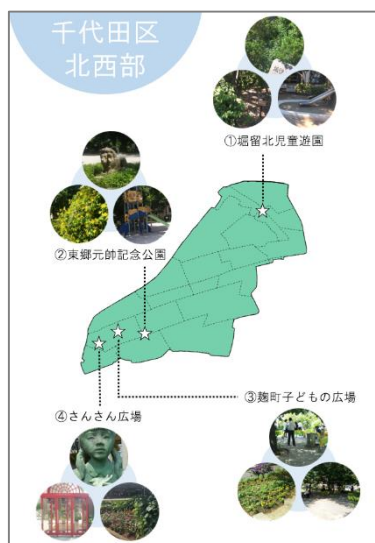
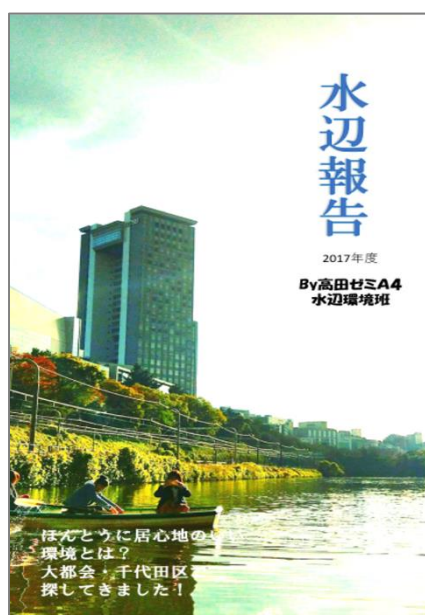
昨年度実施した現地調査をもとに、千代田区と周辺の水辺で“癒し”と“居心地”を感じてもらう冊子を作成した。



○現地調査と千代田区ビオトープマップの作成

千代田区内の以下の16箇所を対象に現地調査を行い、その結果をビオトープ調査票として取りまとめ、人と生物の両面からの評価を試みた。それらをもとに、現在千代田区北部域版のビオトープ冊子を作成中である。冊子の狙いは人と生物の両方から身近な水辺の魅力を感じてもらうことで、コンテンツとして「人と生物にとっての環境」「一押しの生物」「近隣の店などのスポット」「アクセス」「改善点・魅力提案」などを検討中である。

東郷元帥記念公園、東京大神宮、錦華公園、神保町愛全公園、麴町子どもの広場、清水谷公園、弁慶堀、外濠ボート、外濠公園、法政大学グリーンテラス、堀留北児童遊園、西神田公園、サンサン広場、ホテルニューオータニ、駿河台ビル、和田倉噴水公園



作成中のビオトープマップ



野鳥調査(主要な公園)

○現地調査とデータの取りまとめ

千代田区を中心とする主要な公園として、北の丸公園、国会前庭庭園、日比谷公園、小石川後楽園(文京区)、不忍池(台東区)、清水谷公園でのべ18回の野鳥調査を行った。併せて環境、個体数、行動についても調査を行い、データとして取りまとめた。

○野鳥図鑑の作成

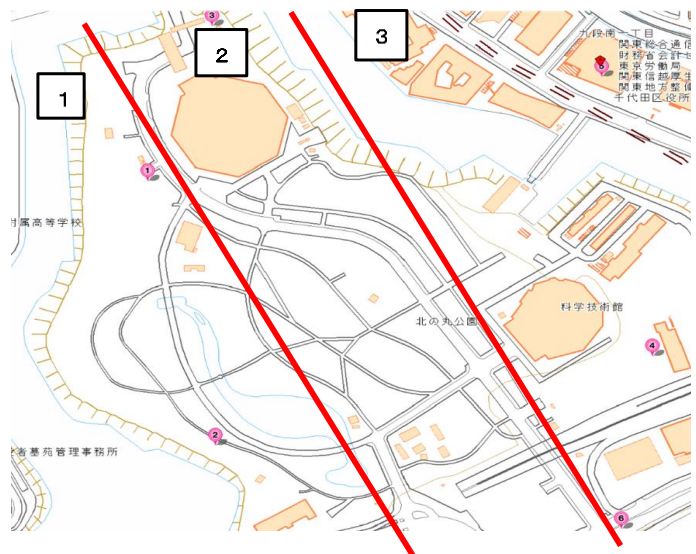
野鳥についての知識を取得し、観察技術向上を図るため、さらには多くの人に身近な野鳥に関心を持ってもらうためのツールとしてオリジナル野鳥図鑑(第一集)を作成した。現在第二集を作成中である。



○データの分析と評価

調査から得られたデータをもとに分析評価を行った。北の丸公園においては、環境の異なる3つのブロック(1:樹木が多い・水辺がある・人の影響が少ない・常緑樹と落葉樹、2:密度の高い樹林が点在・人の影響が中程度・落葉樹、3:樹木密度が低く種類も少ない・人の影響を強く受ける)に区分し(図)、比較分析した結果、種数に傾度が見られ(1:2016年20種・2017年17種、2:同14種と10種、3:同9種と5種)、生息種数と、樹木密度及び人の攪乱程度とが関係していることが示された。

また日本鳥類保護連盟及び日本野鳥の会が提起している野鳥の点数化による評価を行ったほか、多様度・希少度並びに類似度指数による比較評価なども試みた。



北の丸公園での種数と環境傾度との関係分析



野鳥調査(様々な緑地)

○現地調査とデータの取りまとめ

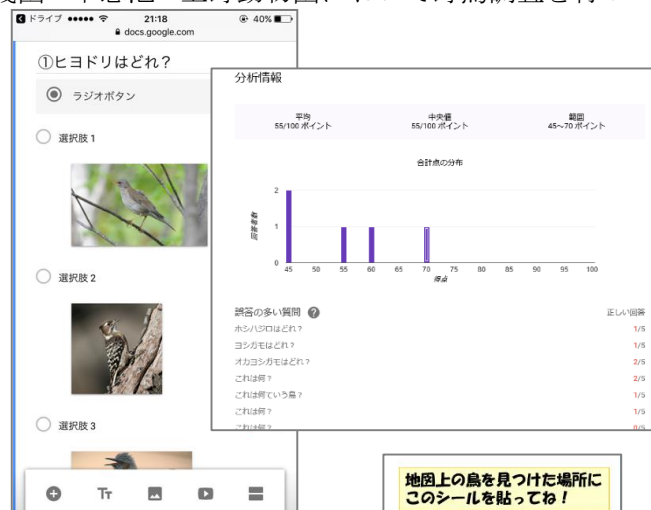
様々な規模やタイプの緑地における定期的な野鳥観察として、四ツ谷エリア（清水谷公園、東京ガーデンテラス紀尾井町）、国会前提、御茶ノ水エリア（錦華公園、三井住友海上屋上庭園）、大手町エリア（大手森、大手濠）の4地域で各6～7回調査を行ったほか、新宿御苑・小石川後樂園・明治神宮東御苑・明治神宮北池・北の丸公園・日比谷公園・清澄庭園・六義園・不忍池・上野動物園において野鳥調査を行った。調査結果はデータベースとして取りまとめた。

○野鳥識別技能の向上

調査者の野鳥識別技能を高めるため、スマホを使ったトレーニング用アプリを Google Drive 上に作成し共有した。

○野鳥観察マップの作成

観察した鳥をシールで貼る野鳥観察マップ（御茶ノ水版）を作成した。さらにエリア別に観察された野鳥を記載した地図を現在作成中である。



野鳥観察マップ（御茶ノ水版）



エリア別の野鳥地図



皇居内濠での水鳥調査

○現地調査とデータ取りまとめ

2015～2016 の冬以降、毎冬内濠の水鳥を対象に種別の個体数をカウントし、お濠別に集計している。今年度は 12 月 13 日に調査を行ったほか、夏期の参考として 8 月 29 日に調査を行った。

○分析結果

2014 年 11～12 月に卒業研究で行われた調査データも活用して分析を行った。その結果、確認種数について冬期間の確認種数は概ねここ数年一定で、お濠によって種数が異なる傾向が見られた（多い：桜田濠、大手濠など、少ない：半蔵濠など）。観察種数は 23 種で、通年みられる種、冬期の観察頻度が高い種、観察頻度が低い種の大きく 3 つに分けられた。

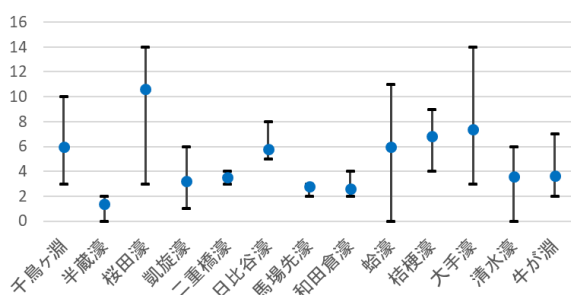
個体数について、冬期間の個体数は概ねここ数年一定で、お濠によって、また種によって 個体数が異なる傾向が見られた。個体数が多かったのは、桜田濠、大手濠、桔梗濠で、種としてはヒドリガモ、オカヨシガモの個体数が多い傾向が見られた。

皇居内濠の水鳥は、日本野鳥の会東京支部が 1977 年以降調査を実施しており、2006 年までの調査結果がまとめられたカモ類に関する資料との比較を行った。その結果カモの種数は、私達の調査では 10 種、野鳥の会東京支部では 13 種だった。個体数を比較した結果、オカヨシガモとヨシガモは増加しており、反対にキンクロハジロは減少していた。カルガモ、ハシビロガモ、マガモは変化がみられなかった。ヒドリガモは 1990 年代以降減少傾向にあったが、再び数が増えてきた可能性がある。

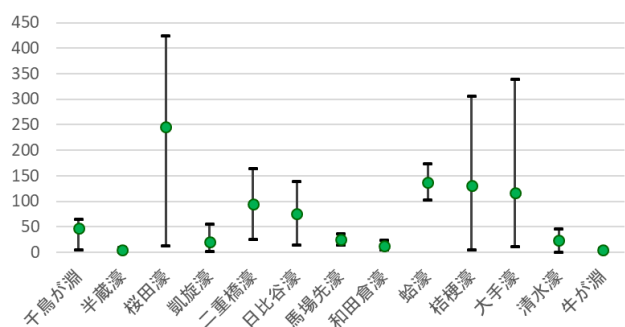


<http://blog.goo.ne.jp/>

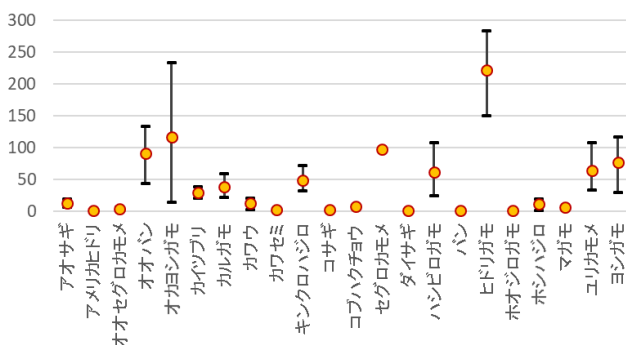
お濠別の種数(冬期)



お濠別の個体数(冬期)



種別個体数



屋上を使った『農』と『緑』

○企業緑地への訪問調査

以下の企業緑地を訪問し、「緑の多さ」「くつろぎスペースの有無」「特徴・印象」について現地調査を行い、データベースとして取りまとめた。現在比較検討を進めており、企業緑地の魅力を高める提案に今後つなげていく予定である。

紀尾井ビル、池袋西武 9 階の屋上庭園、ootemori 三菱地所
大手町ホトリア、トリトンスクエア、住友商事竹橋ビル



紀尾井ビル



ootemori 三菱地所



西武 9 階の屋上庭園

○屋上を活用した『農』の可能性検討

前年度に行った、企業による屋上の『農』（菜園など）への活用に関する調査の結果、「日向土」という土が屋上での農作物栽培に適しているとの知見を得たことから、今年度法政大学の屋上を活用して、家庭菜園の土と「日向土」の両方でジャガイモを育て、その違いを観察した。

その結果、現時点で両者に有意な違いが見られなかった。その原因として、土壌改良剤の施用の差、種イモ自体の質の差異などが考えられた。引き続き原因を検討するとともに、野菜種を増やして成長観察するなど、企業による屋上の活用提案に向けて検討を進める予定である。



まちなかの生き物文化

○現地調査とこれまで得たデータのまとめ

生き物に関わる文化スポットとして、江戸三森神社（梶森神社・鳥森神社・柳森神社）、今戸神社などの神社を訪ね生き物との関係について現地調査を行うとともに、現代における生き物文化の一つである動物カフェとして「保護猫カフェまちなこ」を訪ねて調査を行った。これらを含めて、これまでの調査結果を取りまとめてデータベースを作成し、地図に落として俯瞰する試みも行った。データベースは、スポット・調査日・場所・生き物・文化のタイプ・詳細な現地情報の6つの項目について、計37箇所について作成した。



スポット	調査日	場所	生き物	種類	特徴
鹿沙門天・善国寺	2014年5月30日	新宿区神楽坂	トラ	信仰	狛犬の代わり
回向院	9月27日	墨田区両国	ネコ	供養	石碑
市ヶ谷フィッシュセンター	11月28日	千代田区市ヶ谷	サカナ	レクリエーション	釣り
平河天満宮	2014年7月5日	千代田区大手町	カエル・フクロウ	伝承	音が響るに掛けて置かれた
日比谷公園	7月18日	千代田区平河町	イヌ・ウシ・キツネ	信仰	狛犬・石牛・撫で牛
柳森神社	5月	千代田区日比谷	ツル	オブジェ	噴水
湯島聖堂	9月27日	千代田区神田須田町	タヌキ	信仰	石像
猫カフェ	7月23日	文京区湯島	鬼狹頭・鬼龍子	信仰	霊獣・魔除け
神保町愛全公園	?	豊島区池袋	ネコ	レクリエーション	ふれあい
神田明神	9月22日	千代田区神田神保町	ライオン	オブジェ	噴水
谷中銀座商店街	2014年7月23日	千代田区外神田	ウマ・イヌ・水に関する生物	信仰	馬は本物・狛犬・オブジェ
焼橋	11月28日	台東区谷中	ネコ	商品	猫グッズ
虎火いちょう	8月13日	千代田区一ツ橋	キジ	橋	短小屋の近くだった
靖国神社	8月13日	千代田区大手町	イチョウ	木	震災復興のシンボル
岩屋大師	6月30日	千代田区九段北	ウマ・ハト	供養	戦時中の軍馬と伝書鳩の供養
飯綱権現堂	1月5日	東京都八王子	弘法大師	信仰	高尾山・洞窟
高尾山	1月5日	東京都八王子	空想動物	信仰	彫刻
鳥のいるカフェ	1月5日	東京都八王子	ムササビ	オブジェ	高尾山に生息
鳩森八幡神社	8月26日	台東区浅草	トリ	レクリエーション	ふれあい
ウサギカフェ・ひまわり	10月24日	渋谷区千駄ヶ谷	ハト	伝承	神社の名前の由来となっている
亀戸天神	5月8日	世田谷区下北沢	うさぎ	レクリエーション	動物カフェ
ペンゴウ職員	2015年6月5日	江東区亀戸	カメ・ウシ・ウサギ	信仰	石像
狸通り	2015年6月5日	江東区亀戸	カメ・イヌ・ウサギ	商品	動物モチーフのアクセサリー
かなや菓子	6月19日	台東区浅草	タヌキ	伝承	パワースポット
築地本願寺	6月19日	台東区浅草	ウマ・ブタ・リス・山羊	商品	毛を使ったブラシ
豪徳寺	2015年5月22日	中央区築地	ライオン・ウシ・トリ・サル・ゾウ・ウマ	信仰	彫刻
金魚坂	5月8日	世田谷区豪徳寺	ネコ	信仰	招き猫
高尾山	4月24日	文京区本郷	キンギョ・ニシキゴイ	レクリエーション	販売・カフェ
高尾山	2015年1月5日	東京都八王子	天狗・カラス天狗	信仰	銅像
高尾山	2015年4月5日	東京都八王子	スギ	信仰・伝承	天狗の腰掛
柳森神社	2016年9月23日	千代田区永田町	サル、ライオン、リュウ	信仰	像、灯籠（彫刻）、ご神水
靖国神社	2016年10月14日	千代田区神田神保町	ネコ	商品	猫にまつわる本やグッズ、写真など
集町	2016年11月18日	千代田区集町	ハヤブサ	町名	町名
梶森神社	2017年4月21日	中央区日本橋堀留町	モリ	信仰	江戸三森の一つ
今戸神社	2017年4月21日	台東区今戸	ネコ	信仰	招き猫
鳥森神社	2017年5月12日	港区新橋	カラス	信仰	招き猫
保護猫カフェまちなこ	2017年6月13日	千代田区神田須田町	ネコ	レクリエーション	動物カフェ 里親支援

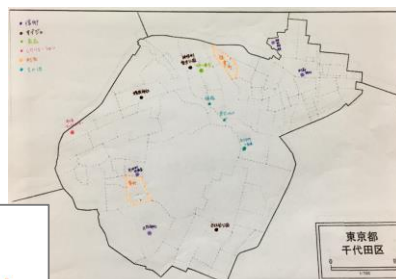
データベースの作成

○生き物文化の魅力を発信する冊子の作成

取りまとめた調査データをもとに、昨年度作成した「生物文化マップ」冊子に続く第二集として「生物文化ハンドブック」を現在作成中である。第二集では、生き物文化のランキング評価、生き物文化をもとにしたキャラクターによる座談会、生き物文化を訪ね歩くモデルコース、おすすめ生き物文化スポットなどの内容を検討中である。



第二集の冊子づくり



左：調査箇所の地図

下：ねこカフェ



江戸文化の中の生き物

○歌舞伎と浮世絵に登場する生き物調査

文化的視点から千代田区の生き物や自然に関心を高めてもらうため、昔からの人と生物との関わりを題材に、江戸時代の「歌舞伎」と「浮世絵」に焦点を当てた。文献資料などをもとに、それらに登場する生物の逸話などを調査し、図鑑にまとめる取り組みを進めた。

現在「浮世絵生物図鑑」を作成中である。



作成中の冊子

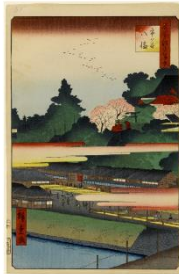


○「名所江戸百景」との風景比較

人の暮らしと自然環境などの関わりや文化が、どのように変化してきたのかを考えるため、江戸時代終りの浮世絵師である歌川広重が描いた「名所江戸百景」の風景のうち、千代田区内で描かれた場所に実際に赴いて風景を比較する現地調査を行った。調査は市ヶ谷、水道橋、麹町、桜田門、秋葉原、東京駅周辺で行い、同じアングルと思われる風景写真を撮影した。

比較の視点は主に「植生」と「地形」で、その場所の利用のされ方がどのように変化したのかを取りまとめている。これらの結果を今後冊子や新聞、または浮世絵の風景が見れる散策マップなどの形にまとめる予定である。

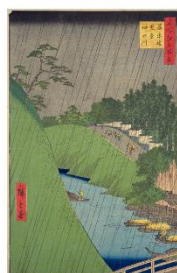
市ヶ谷八幡



糺町一丁目山王祭ねり込



昌平橋聖堂神田川



現：秋葉原付近

川と東京湾の『生き物図鑑』

○川と東京湾の生き物に関する情報収集

東京湾周辺の台所を賄い、川や下水からの排水を浄化し、水辺とのふれあいを提供し続けてきた東京湾と都心をつなぐ川を対象に、生き物の視点から様々な魅力を発信することで、広い視点から都心部の自然や環境とのつながりを理解しすることを狙いとして、現地調査などを通して情報収集活動を行った。今年度は東京湾に焦点を絞って行い、併せて東京湾の環境変化と江戸前魚介類の特徴についても調べた。

【調査場所】・しながわ水族館…東京湾の魚についての基礎知識取得

- ・葛西臨海公園…海岸での生物調査
- ・築地市場…東京湾の魚についての聞き取り調査
- ・若洲海浜公園…船からの生物調査



○川と東京湾の生き物図鑑づくり

現地または情報収集から得たデータをもとに、独自の「東京湾お魚図鑑（第一集）」を作成した。図鑑では東京湾の変遷と15種の魚を紹介している。魚は形態や生態を親しみやすく紹介するほか、「Let's お料理」と題して美味しく食べる1品を紹介し、食を通して生き物や環境とのつながりを意識してもらうよう工夫した。今後は種や項目を増やして第二集を作成するとともに、都心と海をつなぐ川を対象に取り組んでいく予定である。



川と東京湾の魅力探索

○川と東京湾の魅力に関する現地調査

東京湾と日本橋・神田川周辺の以下の地域を対象に、東京湾に関わる文化と歴史の視点を含め、水辺周辺のスポット紹介に向けて現地を訪れ、どのような魅力資源や観光資源があるかについて調査した。また並行して東京湾において生物や自然とどう触れ合うことができるのかについて現地調査を行い検討した。そのほか、図書館等において文献などから情報収集を行った。

葛西臨海公園（干潟の生物調査）
江戸東京博物館（東京湾の文化・歴史調査）
横浜港沖（ボートによる生物調査）
神田川・日本橋川・築地・月島周辺（文化調査）
外堀（ボート調査）



○東京湾の干潟生物データの分析

東京湾奥部にある三番瀬干潟の生物調査（三番瀬市民調査の会が実施）に参加し、過去からのデータをお借りして80種の生物を選定して分析を行った。その結果、2011年3月の東日本大震災で地盤が沈下した前後で出現の有無に変化が見られた種があることがわかった。これらを今後の川と東京湾の魅力発信に生かすことを検討する予定である。

○川と東京湾の魅力を発信する冊子づくり

今年度の調査結果をもとに、川と東京の魅力を感じて伝える冊子「UMI×KAWA×CHIYODA」（水辺情報誌）の作成に着手した。現在コンテンツとしてグルメ、レクリエーション、生き物、川の源流、歴史や人との関わり、水質などの環境などを検討中である。今後はこの完成を目指すとともに、河川の利用に関する調査検討を進める予定である。



UMI × KAWA × HATENA 2017 vol.1	
Topic	Page
千代田区、海と川。	
東京湾のグルメマップ 01. 駅地を食べ歩き 02. 市場グルメを探す	3
川のレクリエーション 01. 船上ウエディング	6
三番瀬の生き物 水野真由	8
千代田区川の源流を探る！ 01. 運か運く、水は奥秩父より	10
東京湾、川の歴史、川の活用 入山寛己	13
東京湾と川の水質 改善案 源達結加	15
We are 高田ゼミ	18

検討中の水辺情報誌

里山を感じ、里山とつながる

○千代田区内及び都市近郊の里山への訪問調査

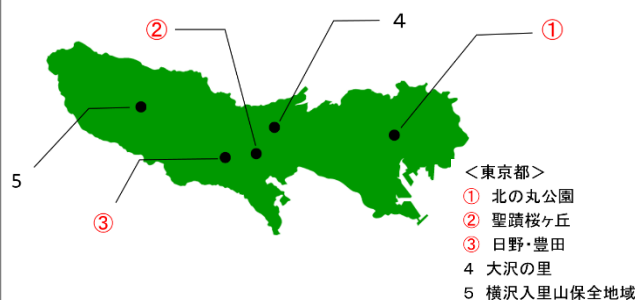
食の流通や、都市と里山との交流の観点から、千代田区の自然のもつ魅力と関連づけることを目指して、里山や千代田区内のマルシェ（イベント市場）を対象に現地調査を行った。今年度は以下の地域等を訪ね、活動について聞き取りを行うとともに、里山の魅力や都市との関わり方、効果的な情報発信の視点などについて、調査に基づいて検討方向を模索した。

- ・法政大学多摩キャンパス訪問…4つの里山サークルへの聞き取り
- ・第33回全国都市緑化よこはまフェア 里山ガーデン…イベント参加
- ・北の丸公園…都市緑地の状況調査（春及び冬の2回）
- ・丸の内行幸マルシェ…都市緑地・里山をアピールできる出店の可能性検討
- ・東豊田緑地保全地域（日野市）…里山公園の利用者と利用状況を調査
- ・多摩東寺方緑地保全地域（多摩市）…映画“耳をすませば”の舞台を踏まえて散策調査



○里山写真集づくり

若い人たちに里山の魅力を伝える一つの視点として、ビジュアルと感性を融合させた「里山写真集－SATOYAMA LIFE」の作成を試みている。これまでの調査結果も踏まえて、今後発信に向けた検討を進めるとともに、「食」「空間体験」「交流」といった都市との関わり方について引き続き取り組んでいく予定である。





企業とのコラボレーション

○三井住友海上火災保険株式会社

定例探鳥会の共同開催：

駿河台の本社低層棟の屋上庭園において、毎月第 2 木曜日の朝、社員や通勤途中の方等を対象とした探鳥会を実施した。探鳥会では、初心者に感心をもってもらうために毎回学生がクイズ・小話を行い、これらを冊子にまとめた。またスタンプカードを作成し、2 回参加するごとに学生による手作り景品（野鳥カード・野鳥しおり等）を差し上げ、リピーターになってもらう工夫を凝らした結果、常連が少しずつ増えてきた。さらに参加者に身近な自然に関心をもってもらうため、“季節の便り”の作成を進めている。

定点カメラによる野鳥モニタリング：

駿河台緑地内の 5 か所に設置した自動撮影カメラの画像に写った野鳥や動物の識別とデータ作成を、学生が毎月実施し企業と共有・分析を行っている。その結果、季節による飛来種の傾向、ならびに年間を通してこの緑地を利用している種がいることが明らかになった。また、渡りの途中で立ち寄ったと考えられるクロツグミ、キビタキ、マミチャジナイ、クロジなど、都市では珍しい野鳥も確認され、本緑地が都市内において非常に重要であることも明らかになった。



野鳥クイズ・小話冊子

スタンプカードとしおり



○DNP 大日本印刷株式会社

大日本印刷株式会社 (DNP) と連携して、同社が開発したスマホ携帯向けの「よりみちアプリ:YORIP」に提供するためのコンテンツを作成した。2017 月 7~12 月に本学法学部の杉崎ゼミとともに 3 回のワークショップを開催し、学生目線から千代田区の自然を含む魅力の掘り起こしと 5 つの散策ルート提案を行った。これらのコンテンツは近く実装される見込みである。





SNS 等による情報発信

ゼミによる千代田学の活動を学内・学外問わず、より多くの人に知ってもらうために SNS 等を使用して広く情報発信を行った。

○Facebook

ゼミの課外活動による千代田学の取り組みや野外学習活動について、主に学外への情報発信を念頭に、各活動及びイベントの概要と結果について随時投稿を行った。

○Twitter

Facebook に加えて、普段のゼミの様子や千代田学の活動、野外学習の様子をリアルタイムに近い形で臨場感のある投稿を行った。こちらは主に同年代の学生を対象として想定している。

○Instagram

主に同年代の学生を意識し、視覚性に訴えて写真により活動状況を随時発信している。Instagram は「緑地」「水辺」「生物」のそれぞれにアカウントを作成している。

○YouTube

「東京水辺さんぽ」と題した動画（ロングバージョンとショートバージョン）を作成し、都市の水辺の心地よさと清々しさを感性に訴える発信を試みた。

○大学ホームページ

大学ホームページ内の学部・教員ホームページにおいて活動概要を紹介するとともに、作成した冊子を PDF でダウンロード可能とした。



上 : Twitter

右 : Instagram



左 : Facebook

下 : YouTube



東京水辺さんぽ long ver. by 法政 0507



学習／成果の発表

○外部への成果発表

①法政大学「環境展」

日時：2017年10月17日～19日

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎1階メディアラウンジ

内容：法政大学環境委員会主催で学内の環境サークル、ゼミの活動内容、企業の環境への取り組み、大学の環境への取り組みを展示する主に学内向けのイベントにおいて、活動成果をパネルにまとめ発表した。



②東京湾干潟サミット in 千葉

日時：2017年9月16日

場所：千葉県弁護士会館

内容：ゼミ活動の概要、川と東京湾に関わる活動、三番瀬の生物データの分析結果について発表した。



③三番瀬市民調査報告会

日時：2017年12月9日

場所：船橋市男女共同参画センター

内容：三番瀬市民調査の会主催の報告会において、会より提供いただいた三番瀬の干潟生物データの分析結果について成果を発表した。

④日本湿地ネットワーク (JAWAN) シンポジウム

日時：2018年3月31日

場所：船橋市男女共同参画センター

内容：「都市の水辺をフィールドとした学習活動」と題して千代田学に関わるゼミ活動の紹介、皇居内濠の水鳥調査活動、三番瀬干潟の生物データの分析結果について発表した。

○講師を招いての勉強会

環境省自然環境局皇居外苑管理事務所の職員を招いて「皇居外苑の環境と保全への取り組み等」について、また NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部の中林裕貴理事長を招いて「水辺から発信する環境問題」について講演いただいた。

○野外学習

フィールドで様々な自然に触れ、専門家の話を直接聞くことで自然を観察する基礎力を身につけるとともに、千代田区の自然と他地域の自然とを比較することで、個性や魅力を客観的に捉え、自然と人との望ましい関わり方について考える力を養うことを目的として野外学習を行った。

今年度は「清水山憩いの森（練馬区）」「水元公園（葛飾区）」「三番瀬干潟（千葉県浦安市・市川市）」「恩田谷戸（横浜市）」「三富新田（埼玉県三芳町）」「鎌倉市（神奈川県）」「銀座屋上のみつばち（中央区）」「狭山丘陵（埼玉県所沢市）」「谷津干潟（千葉県習志野市）」にて野外学習を行った。

活動の体制

2つのゼミ、総勢 70 名の学生で取り組みました。

金曜 3 限ゼミ

- 【2年】篠田未来, 成島公留実
- 【3年】藤堂巧巳, 中山亜利沙
- 【4年】大橋香菜里, 福山果奈



金曜 4 限ゼミ

- 【2年】中島涼夏, 森岡奈緒子
- 【3年】堀川真愛
- 【4年】芳賀与恵, 水沼圭吾

- 【2年】荒澤知輝, 内海幸弘
田中舞乃
- 【3年】平林優太
- 【4年】安済由香, 佐藤海志
滝口雅史



- 【2年】工藤広大, 近藤 凜
中尾理恵
- 【3年】大橋歩美, 梶井龍平
- 【4年】西山雄太

- 【2年】伊藤さくら, 長 大輔
- 【3年】大竹正泰, 渡邊愛巳
- 【4年】江畑葉奈子, 武井 渉



- 【2年】岡藤さや香, 中村美月
- 【3年】清本将太, 篠澤佑太
高橋優衣, 南野香蓮
- 【4年】中村彩香

- 【2年】由本光記
- 【3年】奥屋 瞳, 上西彩加
杉本 碧
- 【4年】宮沢みのり



- 【2年】岡崎元哉, 甲斐惇子
根本里菜, 萬石祐貴
- 【3年】黒河彩美, 高野由希奈
中井翔子, 三村茉由
渡辺彩音
- 【4年】伊藤太一, 金木彩乃

- 【2年】石川 稜, 伊藤香希
土屋宗一郎, 新實柚里香
- 【3年】伊藤佑華, 高畑伽奈
宮原朋花, 吉高晃洋
- 【4年】黒澤和暉, 清水綾乃
高橋佑梨子, 町田康平



- 【2年】入山寛己, 渡邊結加
- 【3年】吉澤尚人
- 【4年】石井笑美, 永野真由





発行

平成 29 年度 千代田学活動成果報告書

「緑・水辺・生物による千代田区の魅力化プロジェクト」

〔発行〕 法政大学人間環境学部 高田ゼミ

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

〔発行日〕 2018 年 3 月

※無断での転載はお断りいたします

